

PRSJ NEWS

2024年3月号 No.360



They Talk Forum 山根基世氏の講演の様子。レポートはP12掲載

TOPICS

MESSAGE

PRアワードグランプリ、PR大賞パーソン・オブ・ザ・イヤーおよびシチズン・オブ・ザ・イヤーのご紹介
PRSJ 理事 鈴木 勇夫

P3

BULLETIN

2024年度第2回 They Talk Forum 開催報告

P13

目次

3月~4月スケジュール		P1
MESSAGE(メッセージ)	P Rアワードグランプリ、P R大賞パーソン・オブ・ザ・イヤーおよびシチズン・オブ・ザ・イヤーのご紹介	P3
ATTENTION(お知らせ)	3月入会の皆様のご紹介	P4
〃	令和6年度会員継続のお願い	P5
〃	「パブリックリレーションズ入門講座」5年ぶりに対面開講	P6
〃	2次試験申込み受付中	P8
〃	3次試験受験料 改定のお知らせ	P9
BULLETIN(活動報告)	1次試験を2月11日(土)~26日(日)の16日間で実施!	P10
〃	「P Rアワード受賞事例公開セミナー」開催報告	P11
〃	「緊急記者会見トレーニング」開催報告	P12
〃	2023年度第2回 They Talk Forum 開催報告 自分の言葉を育てるには ~リーダーシップに必要な言葉~ アナウンサー(元 NHKアナウンス室長) 山根基世氏	P13
〃	第51回「P Rスキル研究会」開催報告(会員限定) バルセロナ原則3.0から考える、P R活動の適切な評価指標とは? (株)インテグレート白井俊行氏	P17
PRSJ in MEDIA	協会掲載記事	P18
事務局だより		P19

3～4月 セミナー・イベント スケジュール

【オンデマンド視聴・通年開講】 パブリックリレーションズ入門 Web 講座 2023	講 師	: 東京都市大学 都市生活学部 / 大学院環境情報学研究所 准教授 北見幸一氏他、全9名
PR プランナー1 次試験対策講座	講 師	(株)井之上パブリックリレーションズ 横田和明氏他、全4名
PR プランナー2 次試験対策講座	講 師	三菱UFJフィナンシャル・グループ 飾森亜樹子氏他、全12名
PR プランナー3 次試験対策講座	講 師	(株)グッドパッチ 高野祐樹氏他、全4名
【オンデマンド視聴】 PR ケーススタディ 2023 <第 1 回>	日 時	: 2023年7月18日(火)～2024年3月28日(木)
	テーマ	: 卓越したPRプロジェクトから成功のポイントを学ぶ
PR ケーススタディ 2023 <第 2 回>	日 時	: 2023年10月24日(火)～2024年3月28日(木)
	テーマ	: 社会課題の解決をめざすPRのチャレンジ
【オンデマンド視聴】 PR 集中テーマスタディ <第 1 回>	日 時	: 2023年7月25日(火)～2024年7月31日(水)
	テーマ	: リスクコミュニケーション(危機管理広報)
PR 集中テーマスタディ <第 2 回>	日 時	: 2023年11月22日(水)～2024年11月22日(金)
	テーマ	: 戦略的コーポレートコミュニケーションの新展開
PR 集中テーマスタディ <第 3 回>	日 時	: 2024年2月21日(水)～2025年2月20日(木)
		: ブランディングを実現する最新PR戦略
【オンデマンド視聴】 パブリックリレーションズ中堅実務者講座	日 時	: 2023年10月26日(木)～2024年4月26日(金)
	テーマ	: 「広報」の存在価値を高めるには?
	講 師	: 森ビル(株) 特任執行役員 広報室長 野村秀樹氏
【会場開催】 パブリックリレーションズ入門講座 2024	日 時	: 4月22日(月)・23日(火)・24日(水)
	講 師	: 電通PRコンサルティング 阪井完二氏他、全11名
	会 場	: 富士ソフト アキバプラザ
【会場開催】 国際セミナー	日 時	: 3月22日(金) 18:30～20:45
	テーマ	: 国際メディアに映る日本とは～How to project Japan to the world～
	講 師	: フィナンシャルタイムズ東京支局長 稲垣 佳奈氏
	会 場	: 日本プレスセンター9F会見場
【関西部会・会場開催】 第 290 回定例会	日 時	: 3月26日(火) 15:30～20:00 (16時出航予定)
	テーマ	: 御座船から学ぶ大阪観光の今とこれから
	会 場	: 大阪城御座船 鳳凰丸 II /ミライザ大阪/ザ・ランドマークスクエア
【会場開催】 在日カナダ大使館 訪問	日 時	: 3月26日(火) 12:00～14:30 (集合時間11:45※時間厳守)
	会 場	: 在日カナダ大使館

3月～4月の理事会・委員会・部会スケジュール

◇定例理事会	(3月度)	日時	: 3月14日(木)	16:00～17:30
		会場	: 事務局+オンライン開催	
	(4月度)	日時	: 4月11日(木)	16:00～17:30
		会場	: 事務局+オンライン開催	
◇教育委員会	(3月度)	日時	3月22日(金)	13:30～14:30
		会場	事務局+オンライン開催	
◇資格委員会	(3月度)	日時	: 3月28日(木)	14:00～15:30
		会場	: ハイブリッド開催	
◇国際・交流委員会	(3月度)	日時	: 3月1日(金)	16:30～17:30
		会場	: オンライン開催	
◇広報委員会	(3月度)	日時	: 3月28日(木)	16:00～17:00
		会場	: オンライン開催	
◇顕彰委員会	(3月度)	日時	: 3月25日(月)	15:00～16:00
		会場	: オンライン開催	
◇企業部会幹事会	(3月度)	日時	: 3月6日(水)	17:00～18:00
		会場	: 事務局+オンライン開催	
◇PR業部会幹事会	(3月度)	日時	: 3月19日(火)	16:00～17:00
		会場	: オンライン開催	

PRアワードグランプリ、PR大賞パーソン・オブ・ザ・イヤー およびシチズン・オブ・ザ・イヤーのご紹介



PRSJ 理事 鈴木勇夫
(株)プラップジャパン 代表取締役社長

2018年から理事を拝命して6年が経ちました。また、2020年からは顕彰委員会の委員長を務めさせていただいております。この場をお借りして、顕彰委員会の主な活動である、PRアワードグランプリ、PR大賞パーソン・オブ・ザ・イヤーおよびシチズン・オブ・ザ・イヤーについて、再度皆様へご案内をさせていただければ幸いです。

PRアワードグランプリは、日本における優れた広報・PR活動を顕彰することで、PR技術の質的向上を図るとともに、パブリックリレーションズに対する一層の理解促進を図ることを目的にしています。毎年100件近くのエントリーをいただき、その中からグランプリなど各賞を選出しています。ここ最近の傾向として、パブリックグッドでありながらコーポレートPRでもある複数のジャンルにまたがる案件や、また自社に留まらず複数の企業や団体が協業するような案件が増えてきています。このような優れた事例に触れることにより、その視点や考え方、施策などご自身の仕事に応用できることがあると思いますので、ぜひ表彰式や事例セミナーへご参加いただけますようお願いいたします。また、PRSJでは事例のアーカイブ化も進めていますので皆様の日ごろの活動に参考になれば幸いです。

PR大賞パーソン・オブ・ザ・イヤーは、経済活動や文化・スポーツ、社会、教育などの分野でパブリックインタレスト（公益）に貢献し、かつ話題性、発信力の高さや共感の醸成など、パブリックリレーションズの視点から、この年に最もPRパーソンとして活躍した人を表彰しています。これまで羽生結弦氏や根本かおる氏など多くの方々を表彰してきました。

PR大賞シチズン・オブ・ザ・イヤーは、長年にわたり企業や市井で独創的な広報・PR活動を実践し、広く社会や地域あるいは団体の発展に寄与し、奨励に値する成果を収めた個人またはグループを表彰しています。これまで表彰してきた中には「内閣府承認NPO法人全国てらこやネットワーク」や「気まぐれ八百屋 だんだんワンコインこども食堂」など多くありました。

PR大賞パーソン・オブ・ザ・イヤーおよびシチズン・オブ・ザ・イヤーの候補者は、会員の皆様からのご推薦も受け付けておりますので、ぜひ皆様からもご推薦をお願いいたします。PRSJでは、このような表彰を通じて業界の認知向上から発展、PRパーソンの皆様のスキル向上などに貢献できればと考えています。引き続き、よろしくお願い申し上げます。

新規入会の会員（正会員）のみなさまの「自己紹介」ページです。今回は、3月にご入会いただきました正会員（掲載希望社）をご紹介します。

株式会社八芳園



株式会社八芳園は、昭和18年の創業以来、結婚式をはじめとした宴会・レストラン等の企画運営を展開し、豊かな自然環境創造と、食生活の奉仕を通し、社会に貢献する総合プロデュース企業として成長してきました。「日本のお客様には心のふるさとを。海外のお客様には日本の文化を。」を企業理念に掲げ、都心にありながらも江戸時代から続く約1万坪の由緒ある庭園を維持し、ホスピタリティにあふれたサービスでお客様へ至福の時間を提供しています。現在は八芳園内での事業だけでなく、日本中の食・技・文化を学び、東京都地方、地方と地方、日本中と世界を結ぶプロデュースにも力を入れ、「交流文化創造」という新たな市場創出を目指しています。

琉球パブリックリレーションズ株式会社

琉球パブリックリレーションズ株式会社（通称 RPR）は沖縄を中心に活躍する PR 会社です。

沖縄から内地へ、本土から沖縄へ。正しく伝え、正しく届ける。琉球パブリックリレーションズでは、様々なビジネス課題を解決するため ” 価値の再定義 ” に取り組んでいます。常に変化していくこの時代、新しい技術や手法が日々生まれています。価値を再定義していくためには、今までにない取り組みや領域へチャレンジしていかなければいけません。新しい価値が存在する未来へ向けて、ユーザーの心を理解し、寄り添った定義を加えることで、ビジネス課題を確実に解決していきます。新しい時代には、新しいメッセージで。そしてそれを、PR のチカラで。～ Revive “RYUKYU” with PR ～ 琉球パブリックリレーションズ。

令和 6 年度会員継続のお願い

当協会は 3 月末をもちまして令和 5 年度事業を終了いたします。
これもひとえに会員皆様方のご支援・ご協力の賜物であり心から感謝申し上げます。

令和 6 年度を迎えるにあたり引き続き会員継続をお願いいたしたく、ここにご案内をさせていただきます。当協会ではパブリックリレーションズの啓発とプレゼンスの向上を図るべく、令和 6 年度も引き続き活発に活動していく所存です。

皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。

つきましては、令和 6 年度の年会費<2024 年 4 月～2025 年 3 月>をご請求(3 月上旬)させていただきます。会員会費は例年どおり年間一括支払となっております。

請求書が届きましたらお手数とは存じますがお手続きのほどよろしくをお願いいたします。

振込先	みずほ銀行 築地支店
預金種目	普通口座
口座番号	1377599
受取人名	(公社)日本パブリックリレーションズ協会 または日本 P R 協会
支払期日	2024 年 5 月末日 支払期日が異なる場合は下記 mail までご一報ください

【注意事項】

**※支払予定日のご連絡がなく『6 月末まで』にお振込みが確認できない場合には、
退会手続きを取らせていただく可能性がございます。ご注意のほど宜しく
お願いいたします**

※御社の支払条件期日が異なる場合など、お支払いに関するご相談につきましては
は件名を「2024 年度 会員費支払の件」とし、
経理 東平(ひがしひら) < higashihira@prs.j.or.jp > まで必ずご一報ください
※年度内の途中退会をご希望の場合でも分割や払い戻しは致しかねますので、
ご理解、ご協力のほど宜しくをお願いいたします。

※退会ご希望の場合は、2024 年 3 月末までに「退会手続き」が必要となります

※ご登録内容の確認や、原本送付のご入用、ご請求額等については、
依田 (TEL : 03-5413-6760 / mail : yoda@prs.j.or.jp) までご連絡ください

パブリックリレーションズ実務講座 2024

「パブリックリレーションズ入門講座」 5年ぶりに対面開講 ～パブリックリレーションズの基本を学ぶ3日間～

教育委員会

協会は、「パブリックリレーションズ実務講座 2024」の皮切りとして4月22日（月）からの3日間、東京・秋葉原の富士ソフト アキバプラザで「パブリックリレーションズ入門講座」を対面開講いたします。

本講座は、新入社や異動により新たにパブリックリレーションズ業務に就く新任実務者を主な対象に毎年春期に開講しており、毎回多くの受講者を集めています。2020年以降はコロナ禍のためオンライン講座として公開してきましたが、感染症をめぐる社会状況も一定の改善をみせたことから2024年は5年ぶりに会場における対面講座として開講します。

本講座は、新任実務者が知っておくべきパブリックリレーションズの基本をはじめ、企業広報、マーケティングPR、危機管理広報、広報関連法規、SDGsなどに関する講義、ニュースリリースやメディアリレーションズ実務の基本を身に着けるワークショップなど幅広い内容で構成されます。各講座の講師にはそれぞれの分野に精通した実務専門家、企業広報マネージャー、弁護士を迎え、受講者は実務に必要な知識やスキルの基本を3日間で集中的に習得することができます。



過去の開催風景

また今回は、業務の都合により参加できない実務者、夏期以降に着任する新任実務者に受講機会を提供するため、会場講座（演習のある講座一部を除く）を収録・編集してネット配信し、オンデマンドで視聴可能とする「パブリックリレーションズ入門 Web 講座」を7月から通年開講する予定です。4月の対面講座を受講されるみなさまはこのオンデマンド講座も受講でき、会場で学んだ内容を復習しながら実務に活用することを可能とします。

なお、このオンデマンド講座の詳細は6月下旬にWebサイトにてご案内の予定です。

「パブリックリレーションズ入門講座」の詳細ならびにお申込みは、下記の協会Webサイトの講座ページをご覧ください。

<https://prsj.or.jp/event/entry-course2024/>

■「パブリックリレーションズ入門講座」プログラム

日程	時間	講座タイトル	講師
4月 22日 (月)	10:10～ 11:10	PR パーソンが知っておくべき 法的ポイント	鈴木悠介氏 (西村あさひ法律事務所 パートナー弁護士)
	11:20～ 12:20	危機管理広報の基本と重要性	河端 渉氏 (株式会社エイレックス コンサルティング 2部 グループリーダー/トレーナー)
	13:30～ 14:30	パブリックリレーションズとはどんな仕事	阪井完二氏 (株式会社電通 PR コンサルティング 企業広報戦略研究所 所長)
	14:40～ 15:40	企業広報の基本と実際	岩切正哉氏 (ハーモニックボンド 代表)
	15:50～ 16:50	パブリックリレーションズ とマーケティングPR	永淵雄也氏 (株式会社博報堂 αクリエイティブ局 局長代理)
	16:50～ 17:00	「PRSJ 認定 PR プランナー」 制度解説	宮松秀明氏 (公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会 事務局次長)
4月 23日 (火)	10:00～ 11:00	パブリックリレーションズにおける オウンドメディアの活用	飯田真吾氏 (株式会社クラウドワークス IR・PR 室 室長)
	11:10～ 12:10	インターナル・コミュニケーション の役割と実際	上岡典彦氏 (エバラ食品工業株式会社 執行役員 コミュニケーション本部長)
	13:20～ 17:20	ニュースリリースの作成と活用	西林祐美氏 (株式会社共同通信 PR ワイヤー 営業部営業企画課 次長)
4月 24日 (水)	10:00～ 11:00	SDGs の基本と パブリックリレーションズ	半澤 智氏 (日経BP「日経ESG」副編集長)
	11:10～ 12:10	PR パーソンのための 「世界最高の話し方」	岡本純子氏 (コミュニケーション・ストラテジスト)
	13:20～ 17:20	メディアの特性と メディアリレーションズの進め方	田代 順 氏 (株式会社マテリアル マーケティング/PRトレーナー)

※講座タイトルはすべて仮題です。お申込みにあたっては必ずWebサイトの講座ページをご確認ください。

■ 受講料(税込・円)

種 別	3日間受講	1日受講
協会会員	55,000	22,000
PRプランナー(准・補含む)	71,500	28,600
一般	82,500	33,000

(事務局・真部)

PRプランナー資格認定制度／検定試験

第 35 回 2 次試験の仮申込みは 4 月 26 日(金)まで — 試験期間は、5 月 11 日(土)～19 日(日) — 資格委員会

2024 年度前期（第 35 回）2 次試験の申込を受付中です。仮申込締め切りは 4 月 26 日（金）、試験は CBT 方式で、試験期間は 5 月 11 日（土）～5 月 19 日（日）の 9 日間で実施します。

2 次試験では、試験勉強を通して広報・PR に関する実務に関する専門知識が履修できる内容となっております。また時事問題の履修は、世の中で起きている出来事を常に意識し、テレビや新聞、インターネット等で情報収集することによって、自社の企業価値を高めていくための目標や課題を、広報・PR 実務に結び付けていく第一歩にも繋がります。

この機会に、ぜひ受験をご検討いただければ幸いです。

【PRプランナー資格認定制度／検定制度 第 35 回 2 次試験 実施概要】

試験期間	2024 年 5 月 11 日（土）～5 月 19 日（日）
仮申込み期間	2024 年 4 月 26 日（金）23:59 まで ※PRプランナー資格制度 Web サイトでのお申込みとなります。（本申込に必要な受験コードを取得）
本申込み期間	2024 年 5 月 3 日（金）23:59 まで ※CBTS Web サイトでの本申込みとなります。（受験日時・会場選択、受験料のお支払い） ※CBT 方式のPRプランナー試験を初めて受験する方のみ、CBTS Web サイトにユーザー登録が必要となります。
可否発表	2024 年 5 月 29 日（水）正午
受験資格	1 次試験合格者（1 次試験に合格されていれば、PRプランナー補の資格を取得していない方も受験できます。）
試験科目	科目 A：企業経営と広報・PR に関する知識 科目 B：マーケティングと広報・PR に関する知識 科目 C：コミュニケーションと広報・PR に関する実務知識 科目 D：時事問題（今回の出題範囲は、2023 年 10 月～2024 年 3 月末までの 6 ヶ月となります。）
試験時間	科目 A + B 80 分、トイレ休憩をはさみ 科目 C + D 80 分
試験出題数	各科目 25 問、全 100 問
合格基準	全出題数に対して正答率 65%以上、かつ各科目の正答率がいずれも 50%以上で合格とします。 （全出題数に対して正答率 65%未満の場合、もしくは 1 科目でも正答率 50%未満の場合は不合格となります。）
対応公式テキスト	広報・PR 実践（2022～2023 年度版）

試験スケジュール等、詳細につきましては、下記の PRプランナー資格制度 Web サイトでご確認ください。よろしくお願いいたします。

PRプランナー資格制度 Web サイト：<https://pr-shikaku.prsj.or.jp/>



PRプランナー資格認定制度／検定試験**3次試験受験料 改定のお知らせ****資格委員会**

日本パブリックリレーションズ協会では、広く社会の発展に寄与するPRパーソンとしての知識、スキル、職能意識を有することを認定し、広報・PR業務に携わる人材の育成と技能向上に寄与し、広報・PR活動の社会的認知の拡大をはかることを目的として、2007年よりPRプランナー資格認定試験を実地しています。

また、1次試験から3次試験までを通じて、幅広いパブリックリレーションズ領域を体系的に履修することができる検定制度となっています。

この度、3次試験の運営に関わる費用やシステム関連経費を含め、将来にわたり安定的な試験運営と、より公平・公正な試験運営を維持していくため、受験料を改定することといたしました。

◆改訂受験料

改訂前 3次試験受験料		→	改定後 3次試験受験料	
会員	11,000円 (10,000円+税)		会員	13,200円 (12,000円+税)
一般	13,200円 (12,000円+税)	一般	17,600円 (16,000円+税)	

◆改訂までの試験実施スケジュール

2024年				2025年
5月	7月	8月	11月	1月
第35回	第35回	第36回	第36回	第36回
2次試験	3次試験	1次試験	2次試験	3次試験
現行受験料	現行受験料	現行受験料	現行受験料	改定受験料

改定受験料は、2025年1月に実施される第36回3次試験のお申込から適用となります。

※1次試験、2次試験の受験料につきましては、変更はありません。

今後も受験者の皆様の利便性向上に努め、一層の品質・サービス向上を図ってまいります。受験者の皆様には多大なるご迷惑をお掛けすることとなりますが、諸事情ご賢察のうえ、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

PRプランナー資格制度 Web サイト：<https://pr-shikaku.prsj.or.jp/>



PRプランナー資格認定制度／検定試験

**1次試験を2月10日(土)～25日(日)の15日間で実施
603名の受験者が挑戦し、452名が合格!**

資格委員会

2月10日(土)から2月25日(日)までの16日間で行われた2024年度前期(第35回)PRプランナー資格認定検定試験1次試験では、751名の仮申込、655名の本申込があり、そのうち603名(出席率92.1%)が受験、合格者は452名(合格率75.0%)となりました。

2007年より実施しているPRプランナー資格認定検定試験では、今回の第35回1次試験までの累計で、受験者は15,976名、1次試験合格者は11,864名、合格率平均は74.3%となりました。合格者は5月に9日間で実施する、第35回2次試験に受験することが可能となります。

ご協力いただきました関係者の皆様、大変ありがとうございました。

なお、今回の受験者、および合格者の受験者プロフィールは次の通りです。

<第35回1次試験 業種別／年代別合格率>

		PR業/ PR関連業	一般企業 (広報PR関連)	一般企業 (その他)	各種団体	教育機関	自治体	学生	その他	全体
男性	受験者	33名	85名	45名	5名	5名	6名	14名	6名	199名
	合格者	24名	68名	34名	5名	4名	6名	8名	4名	153名
女性	受験者	47名	219名	70名	10名	7名	5名	30名	16名	404名
	合格者	38名	163名	56名	4名	7名	4名	14名	13名	299名
全体	受験者 (全体比)	80名 (13.3%)	304名 (50.4%)	115名 (19.1%)	15名 (2.5%)	12名 (2.0%)	11名 (1.8%)	44名 (7.3%)	22名 (3.6%)	603名 (100.0%)
	合格者 (全体比)	62名 (13.7%)	231名 (51.1%)	90名 (19.9%)	9名 (2.0%)	11名 (2.4%)	10名 (2.2%)	22名 (4.9%)	17名 (3.8%)	452名 (100.0%)
	合格率	77.5%	76.0%	78.3%	60.0%	91.7%	90.9%	50.0%	77.3%	75.0%

		～20代	30代	40代以上	全体
男性	受験者	59名	61名	79名	199名
	合格者	47名	45名	61名	153名
女性	受験者	152名	156名	96名	404名
	合格者	111名	120名	68名	299名
全体	受験者 (全体比)	211名 (35.0%)	217名 (36.0%)	175名 (29.0%)	603名 (100.0%)
	合格者 (全体比)	158名 (35.0%)	165名 (36.5%)	129名 (28.5%)	452名 (100.0%)
	合格率	74.9%	76.0%	73.7%	75.0%

受験者	合格者	合格率
603名	452名	75.0%

※第1回～35回までの累計の受験者属性につきましては、資格制度 Web サイトより、

資格認定制度について > 過去の合格率(1次試験)

(https://pr-shikaku.prsj.or.jp/about/pass_1st_exam) をご参照ください。



パブリックリレーションズ実務講座 2023

「PRアワード受賞事例公開セミナー」
2月22日に4年ぶりの会場開催

教育委員会

協会は、さる2月22日、『PRアワードグランプリ 2023』で各賞を受賞したPRプロジェクト事例をとり上げ、その成功のポイントを探る「PRアワード受賞事例公開セミナー2024」を、東京・秋葉原の「富士ソフト アキバプラザ」にて4年ぶりに会場開催いたしました。

会場には事業会社の広報部門、PR及びPR関係企業に所属し、広報の最前線で活躍する約60名の聴講者が参加しました。今回のセミナーでは、「グランプリ」と2つの「ゴールド」、さらにシルバー1エントリーをピックアップし、それぞれのプロジェクトを推進したメンバーにご講演いただきました。プロジェクトメンバーによるご講演では、約30分間の持ち時間のなかでその事業の概要、活動による成果、また苦心したポイント、また審査では触れられなかった裏話などが率直に語られ、参加した聴講者の注目を集めています。



また、最後の講演では、『PRアワードグランプリ 2023』審査委員長の本田哲也氏（株式会社本田事務所 代表取締役）にご登壇いただきました。本田氏は「PRアワードグランプリ 2024」を振り返り審査の基準になった3つの「視座」（①「パーパス（社会的存在意義）」はあるか、②「自分（たち）らしさ」が感じられるか、③「巻き込む力」は発揮されたか）にあらためて触れ、その内容を確認しています。さらに今回のエントリー傾向や国際的なイベントとして知られる「カンヌライオンズ 国際クリエイティビティ・フェスティバル（PR部門）」にみられるPRの傾向、これからのPRに求められるポイントを解説し、次回のエントリーをめざすみなさまへのメッセージとして本セミナーを締めくくられました。

2012年以降、10余年にわたり毎年開催を続けている本セミナー。今年秋には、『PRアワードグランプリ 2024』を予定しており、来年も優れた受賞事例の公開が期待されます。

■「PRアワード受賞事例公開セミナー2024」における講演

受賞内容	講演	講演者
シルバー	「ジュエリーそのものを見てほしい。ブランド名を伏せて現れた謎のジュエリーショップ『匿名宝飾店』」	(株)エフ・ディ・シー・プロダクツ 神島涼子氏
ゴールド	「日本に眠る 5兆円の敷金をスタートアップの成長資金に変える『敷金を成長資金に。プロジェクト』」	(株)はずむ 森本進一氏
ゴールド	「守るのは、頭と地球。HOTAMET」	(株)TBWA HAKUHODO 加藤 卓氏
グランプリ	「非流通空き家を借り手の想いで動かす『さかさま不動産』～逆転の発想で挑戦を応援するまちづくりへ～」	(株)On-Co 水谷岳史氏・福田ミキ氏
---	審査委員長講演 「PRアワードグランプリ 2023 を振り返って」	PRアワードグランプリ 2023 審査委員長 本田哲也氏

(事務局 真部)

パブリックリレーションズ実務講座 2023

「緊急記者会見トレーニング」を対面開講

～『法的視点をふまえた危機管理広報と緊急記者会見』～

教育委員会

さる2月15日、協会は「緊急記者会見トレーニング『法的視点をふまえた危機管理広報と緊急記者会見～危機対応の現実感・緊迫感を体感する模擬会見シミュレーション・トレーニング』」を六本木アカデミーヒルズにて対面開講いたしました。

社会を騒がすさまざまな企業の不祥事、事件や事故、その件数は枚挙に遑がありません。毎日のようにテレビのニュースでは、経営トップが事態の釈明や謝罪におわれる記者会見が見られます。企業に対する社会の監視が厳しさを増す今、望まざるにもかかわらず発生する緊急事態。万が一の折には決意と心構えをもって果敢に対峙し、誠意あるコミュニケーション活動を行うことが広報担当者の責務です。

今回の「緊急記者会見トレーニング」は企業の広報担当のみなさまを対象に、いざという緊急事態に対処する心構えや考え方をあらかじめ身に着けることを目的として、講師に不祥事対応など危機管理等を多く手がけられている、西村あさひ法律事務所 パートナー弁護士の鈴木悠介氏を招き開講したものです。

講座では、まず有事におけるレピュテーション・マネジメントの考え方、緊急記者会見の効能や実施ポイント、さらに具体的な進め方などに関し約1時間の講義が行われました。その後の演習では16名の受講者をグループ分けし、工場における死亡事故の発生をテーマとするシナリオをもとに、ステートメントと想定問答を作成するための作業がグループごとに進められました。作成したステートメントと想定問答を用いた緊急記者会見の演習では、グループを会社側、記者側に分け、緊急会見のシミュレーションを内容とする模擬記者会見が行われました。



記者側の受講者が繰り出すさまざまな質問への回答に苦慮する会社側の担当グループ。実際とは異なる模擬記者会見とはいえ、回答のポイント、発言の仕方など、その対応の難しさを受講者全員が感じ取る貴重な機会となりました。

講座の最後は、模擬記者会見の様態を撮影したビデオ動画を見ながら鈴木講師がポイントを解説、現場での具体的な対応にとどまることなく事前に会見への戦略策定が重要であることを当日のまとめとして確認し、この日の講座を終了しました。

広報担当者を対象に、演習を交えたトレーニングとして開講した本講座。企業の緊急対応のポイントを学ぶ貴重な機会として、多くの受講者から満足の声が聞かれました。

協会では、2024年度も本講座の開講を計画しています。開講予定がまとまり次第、協会のWebサイトなどでご案内いたします

(事務局・真部)

2023年度 第2回 They Talk Forum 開催報告
自分の言葉を育てるには ～リーダーシップに必要な言葉～
アナウンサー(元 NHKアナウンス室長)
山根 基世さん

国際・交流委員会

各界の女性リーダーをスピーカーとしてお招きし、女性のエンパワメントとビジビリティ向上、会員同士のネットワーク構築を目的として開催する「They Talk Forum」。今年度第2回は、NHKアナウンサーとして『映像の世紀』など数多くの有名番組を担当し、退職後も『半沢直樹』のナレーションなど多方面に活躍する山根基世さんをゲストにお招きしました。

最近ではアナウンサー活動に加えて、企業の社外取締役としても情報発信の仕事に関わることがあるという山根さん。そうした経験を踏まえた「言葉論」とは。

昨年11月20日、前回に引き続き対面での開催となった講演の様様を一部ご紹介します。



■「リーダーシップとは言葉である」

言葉の使い手として長年活躍し、NHKでは女性初のアナウンス室長に就任した山根さん。リーダーシップとは「自分の体験から学んだことを言語化して納得させる理念」である、といます。

90年代初め、中堅アナウンサーだった山根さんは“働く女性向けの新番組”で司会を担当することになります。当時としては画期的な企画ではあったものの、スタッフの大半が男性で女性は山根さんを含めて1、2人。チーフ・プロデューサーをはじめとした男性陣とは、女性問題に対する意識の差が歴然とあり、その溝をうまく埋めることができなかつたと、当時を振り返りました。

「自分のいる場できちんと言語化できていなかった。放送によってどう発信できるのか、どう番組にできるのか。もし語ることができていたら、そのギャップに傷つくような思いはしなかった」。

すでに数多くの番組を担当し、原稿を読む技術は身につけていたなかでの、大きな挫折。

そうした経験を踏まえ、「日々の体験を言語化して積み重ねて10年20年経ったときに自分の言葉になる」「リーダーシップとは結局、語る言葉の誠実さが人を動かすことにつながる」と山根さんは力説しました。

■「人は誰もその胸に飼う虫がある。その名は“自尊心”」

“女性初の”というタイトルとともに、NHKという大組織の中でキャリアを重ねてきた山根さん。先述の番組作りなどを通して、対人コミュニケーションについても学ぶことがあったそうです。

「人は誰もその胸に飼う虫がある。その虫の名は“自尊心”。傷つけると大変なことになる。これを大切にするとということが人を大切にすることである」。

その対立によって民族紛争すら起こり得る自尊心。組織の中で生きるマナーとして、人の話は丁寧に聞き、内容がどんなに馬鹿みたいと思っても口にせず、胸に受け止めることが大事だと、山根さんはいいます。

「ただ否定するっていうのは人を傷つける。必ず建設的な対案を出す。自尊心は新人だって持っている。言葉がぞんざいだと人を傷つけるので、仕事ではだれに対しても丁寧語で話すようになった」。

そう心がける山根さんは、「ありがとう」と「ごめんなさい」は魔法の言葉」と参加者にアドバイスしました。



■「広報は市民と企業をつなぐ橋渡し」

現在、エネルギー商社で社外取締役を務める山根さん。NHK時代に抱いていた広報へのイメージが今では大きく変化したそうです。

「NHKにおける広報のイメージは、アナウンサーの不祥事やスキャンダルで“広報を通してください”というときの広報。社外取締役を務める会社では、総合企画という部署で広報を担う。BtoBなので広報と言わない。今の広報活動は経営と一体と認識しており、言葉がすごく重要な部署であると拝察する」。

そうした経験を踏まえて、企業広報の実務に携わる参加者に激励の言葉が送られました。

「広報は一般市民と企業とをつなぐ橋渡し役で経営に近い。これからの企業のありようを相互作用でより良くできる立場にある。とてもやりがいのある仕事だと思うので、広報に携わるみなさんもより良い世の中を目指してほしい」。

■「社名を外して名乗る練習」

講演後に設けられた、参加者との懇親タイム。テーブルを回るたびに活発な意見交換が交わされました。

Q：年齢的に会社の“卒業”が見えてきた。山根さんは何か準備なされたか。

A：50歳を過ぎてからは、外で生きていくために「NHKの3文字」を外して名乗る練習をした。自分の言葉で話すことを心がけ、定年後はアナウンサー仲間と「ことばの杜」(有限事業責任組合)を作り、7年間活動したことがひとつの財産となった。今までの職歴を活かしながら社会の中でどう生きるかを考えてきた。

Q：最近AIアナウンサーも登場しているがどう感じるか。

A：不自然ではなくなったが、イントネーションがまだ違う。数値的な情報、気象情報や株価などについて

ては上手く活用すれば労力になるので、場所を選んでAIを使うのはいいと思う。
声は不思議と心がくっついてくる。怒ったときには怒った声になる。そこが人間とAIとの差になる。

Q：ドラマ『半沢直樹』は難解な言葉がナレーションに出てきたが、意識されたことは。

A：ドラマは完成品なので、言葉を変えることはできない。自分が分かったうえで読むことにこだわった。
難解な言葉を話す際には、まず理解しないとイケない。



言葉の使い方を巡る、2時間超の意見交換。最後に、PRSJを代表して国際・交流委員会 脇山委員長から、「広報は人前で話す機会が多いが、言葉は諸刃の剣と改めて感じた。今日の学びを仕事やプライベートにも活かしてほしい」と総括の挨拶がありました。



◎2024年度の「They Talk Forum」につきまして

今年度は2回、対面での開催となりました。多くの方にご参加いただき、誠にありがとうございました。

『思い切って参加してよかった』『リアルの交流の良さを感じた』など、好評をいただいております。来年度は、さらに幅広く、気軽に参加いただける場を企画していきたいと思っております。引き続き、よろしくお願ひ申し上げます。

(編集後記)

筆者は、国際・交流委員会に参加して今回初めて「They Talk Forum」の運営に携わりました。実は山根さんは元・職場の先輩ということで、個人的にも興味深いイベントでしたが、言葉をどう扱うかということは広報分野において非常に重要なテーマであると、再認識する機会となりました。今後も、こうした言葉にまつわる講演を企画できればと考えております。

国際・交流委員長：脇山亜希子 (パイオニア(株) CPR0)

企画：河原有希子 (株内外切抜通信社)

司会進行：長澤修一 (住友商事(株))

文責：土屋和樹 ((公社)化学工学会)

第51回「PRスキル研究会」開催報告

バルセロナ原則 3.0 から考える、 PR活動の適切な評価指標とは？

PR業部会

■会員限定

公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会（PRSJ）では、PR業に携わる方のPR業務ならびにコミュニケーションスキルの向上を目的とし、“明日の仕事から使える知識を身につける”をコンセプトに「PRスキル研究会」を年に3～4回開催しています。幅広い業界から講師をお招きし、研修だけでなく意見交換の場としても活用できると、毎回好評を博しています。

第51回「PRスキル研究会」は、「バルセロナ原則 3.0 から考える、PR活動の適切な評価指標とは？」をテーマとして、2024年2月28日（水）に開催されました。

協会掲載記事

● 3月1日（金） 『月刊広報会議』（宣伝会議）4月号

『月刊広報会議』2024年4月号における当協会の連載コラムで、1月22日の「新春PRフォーラム」開催について掲載されました。

コラムでは、当日、日本PR大賞「パーソン・オブ・ザ・イヤー」に音楽ユニットの「YOASOBI」の2名が、「シチズン・オブ・ザ・イヤー」にはPaix²が表彰されたことが紹介されています。また表彰式のあとで、西武ホールディングス・代表取締役社長の西山隆一郎氏による特別講演が行われたことが伝えられました。

● 2月10日（土） 『広報』（日本広報協会）2月号

『広報』2024年2月号の「トピックス」において、当協会が「PRアワードグランプリ2023」を決定したことが報じられました。

記事では、グランプリに「非流通空き家を借り手の想いで動かす『さかさま不動産』～逆転の発想で挑戦を応援するまちづくりへ～」が選出されたことが、その概要とともに紹介されました。また、「ゴールド」2件、「シルバー」6件、「ブロンズ」7件、「奨励賞」1件が選ばれたことにも触れられています。

[記事協力：株式会社内外切抜通信社]



事務局の青田です。

この1か月は行事ラッシュでバタバタでした。PRアワード事例セミナー／スキル研／ワイガヤ／企業活動研究会／ステマ規制セミナー／定例研／経営者懇談会など、いずれも最上級な活気にあふれた学びと交流の場になりました。

やはり、対面コミュニケーションの付加価値は極めて高いと言わざるを得ません。移動無しのオンライン会議・イベントに慣れ親しんだ身にとって、リアルな場は面倒臭いかもしれませんが、時間を作り、足を運べばこそ得られる宝ものがたくさんありますね。

情報の真偽が定かでない時代においては、リアルなコミュニケーションの中に確かな情報、確かな手ごたえがあると云えます。これまで「デジタル・デバイド」という言葉がありましたが、コロナ禍を経て新たに「コミュニケーション・デバイド」なる状況が起り、新たな情報格差、ネットワーク格差ができるような気がします。

■数字を読む力、持っていますか？（スキル研）

PR業部会主催「スキル研究会」。今回はインテグレートさん・第一生命ホールディングス コーポレートコミュニケーションユニット長 坂本香織 ※役職は4/1～

（トップ広報、企業理念浸透、社内外広報、ブランディング、サステナビリティ）

を講師に迎え、広報・PRのKPIをどう設定するかをテーマにワークショップ形式で行いました。経営層の方と現場の若手のみなさんとでは発想が異なり、刺激的なディスカッションになりましたが、何よりも再認識させられたのは「数字を読む力」の重要性。PRの実務家としては絶対不可欠な資質ですね。トレーニングの機会を作りたいと思います。

■同業他社の方は心強い仲間です！（ワイガヤ会）

初めて参加した若手の方々が一様に「来てよかった。悩みの相談ができたし、勇気づけられた！」と明るい顔で感想を述べ、ほぼ全員が2次会になだれ込むという事態に！

普段なかなか接触できない他のPR会社のみなさんと遠慮なく語り合う場は本当に貴重です。ライバルとはいえ、共通言語と共通体験を持つ者同士、心強い相談相手であり、刺激を与えあう仲間です。

いつも進化の途上にあるPR業界は、「シェアの獲得」よりも「パイの拡大」のほうが大切だと信じます。お互いに高め合える関係をこれからも続けたいですね。

■PRの仕事を魅力的に見せるには・・・（経営者懇談会）

コミュニケーション系の仕事を希望する学生の就活支援を行うマスナビ BOOKS 編集部的小林氏に貴重講演をお願いし、PR業の経営者懇談会が開催されました。「PR」の正確な理解ができていない多くの学生に対してどのように説明すべきか……。小林氏からは耳の痛い話だけでなく、今の学生に刺さるキーワードをいただきましたので、各社個別の取り組みに加え、業界としてできることを協議していきます。

この1か月はPR業部会のイベントが立て続きに実施されましたので、PR業特集になってしまいました（笑）。上記のレポートが順次出てきますので、ご期待ください！

（事務局長 青田）

編集担当より

本誌の内容に関するご意見・希望をお寄せください。

中身の濃い会員誌に育てていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

広報委員会

Eメール mail@prsj.or.jp

※禁転載

公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会

〒106-0032 東京都港区六本木 6-2-31 六本木ヒルズノースタワー5F
〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田 1-12-12 東京建物梅田ビル 12F